

2015.8.29.  
saturday

## 安威川ダム周辺プランワークショップ②

# みんなで新しい空間を思い描こう!



## 実現に向け、 アイデアをブラッシュアップしました。

2015年8月29日(土)、安威川ダム建設事務所5階大会議室にて、第2回となるワークショップを開催しました。2回目のテーマは「みんなで新しい空間を思い描こう!」。第1回目のワークショップで、参加者のみなさんから提案いただいた、自然の活用やレクリエーションなどの利活用アイデアをベースに、イメージを膨らませていきました。

## 各ゾーンの特徴を見てみよう!

第1回ワークショップで出されたアイデアを周辺整備検討専門委員会がとりまとめ、空間内容についての説明がありました。ダム周辺住民の集落があるダム上流部では、里山や川の豊かな自然を守りながらも、水辺環境を活用した遊びや学びの可能性を考える空間であること、ダム湖ができる下流部周辺では眺望やアクセスの良さから、湖面活用のレクリエーションやスポーツ、地域の食材を楽しむ可能性を考える空間であることがそれぞれ説明されました。

### プログラム

1. 開会のあいさつ
2. 前回のふりかえり
3. 専門家委員会資料解説
4. ワーク「エリアごとの空間利用方法のブラッシュアップ」
5. 発表
6. 閉会のあいさつ



## 空間の利用方法をブラッシュアップしよう!

前回のワークショップの利活用アイデアを活用と保全の視点から、6つのテーブルに分かれてアイデアをワールドカフェ形式でブラッシュアップしました。ワールドカフェとは、決められたテーマをもったテーブルをグループで順番に回っていき、前のグループが提案したアイデアをさらに深めていく手法です。来て欲しい人や遊び方を教えてくれそうな人など、安威川ダムを訪れる人の具体的な人物像を考えました。また、活動を実施するにあたり必要な施設の検討も行いました。



### 各テーブルごとのアイデア

[A] 渓谷自然探勝ゾーン [B] 溪流ふれあい体験ゾーン [C] 里山ふれあい体験ゾーン [D] 湖岸レクリエーションゾーン [E] 地域振興拠点ゾーン [F] 里山自然保全ゾーン [G] ダムのエントランスゾーン [H] ダム湖へのアクセスゾーン [I] ダムサイト眺望ゾーン



#### ABCゾーンの活用

ダム上流部にある豊かな自然環境を活用するアイデアを深めました。例えば、地元の小学生と一緒に川床を作るプログラムがあがりました。また、水があるということは同時に危険も潜んでいます。ライフセーバーに来てもらい安全について学ぶ場があっても良いのではないのでしょうか。



#### DEゾーンの活用

地元と密接に関わるゾーンなので、地域住民と来訪者が交流できる必要性が考えられました。地元や府内の子どもたちが遊べるようなコンテンツづくりや、水上スポーツを教えられる人に来てもらい、ダムがあるこの地域でしか体験できないことをすることもあがりました。



#### FGHIゾーンの活用

周辺に暮らすお母さんが先生となり、地元の食材を活用した郷土料理の作り方を教える活用方法が考えられました。隣接する高槻市の萩谷総合公園との連携のアイデアもあがりました。また、ダム建設で出る廃材を使ったものづくり(例:ログハウスづくり)も出されました。



#### 貯水池上流の保全

いまある自然環境を継続的に守っていくためにできることを話し合いました。生態系の調査や森林を間伐するイベントを企画するといったアイデアがあがりました。また、いなか暮らしを体験できるプログラムを実施し、自然と生活が循環されている環境を知ってもらえればと思います。



#### 貯水池下流の保全

地域の農を保全するアイデアとして、休耕農地の利用やレンタル農地があがりました。子どもの農体験の場としても良いかもしれません。また里山の環境を守り、周知するために、地元の山に詳しい人や専門家が先生となり、環境学習をするといったアイデアもあがりました。



#### 全体の活用と保全

市民活動を行いながらも、それらを運営していく組織の仕組みづくりも同時に必要だと思われます。利益を生みながらも、地域に必要なとされる活動団体に参画してもらえるような審査の目も必要です。また作るだけではなく、維持管理も大切だということが話し合われました。

### 第2回ワークショップについてのアンケート結果

満足度はいかがでしたか?	イメージする話はできましたか?	感想をお聞かせください。
<p>                     ■ 満足: 21%                      ■ やや満足: 43%                      ■ どちらともいえない: 21%                      ■ やや不満足: 9%                      ■ 不満足: 6%                 </p>	<p>                     ■ できた: 23%                      ■ ややできた: 35%                      ■ どちらともいえない: 29%                      ■ ややできなかった: 13%                      ■ できなかった: 0%                 </p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回の思いついたままの「やりたいこと」が、少しずつ具体的に増えてきたことが良かったかと思えます。</li> <li>茨木市民の方々が熱く、自分達の地域を良くしようと働く勢いに感動した。また、それらをまとめるワークショップ運営の動きも参考になった。</li> <li>もう少し議論の時間がほしい。議論が面白くなってきたところで終わってしまう。</li> </ul>

次回のワークショップは、11月7日(土) 14:00~16:00  
大阪府安威川ダム建設事務所5階大会議室です。

2015年10月31日(土)は安威川フェスティバルです。  
詳しくは、[www.aigawa.jp](http://www.aigawa.jp)をご覧ください。